

くるみ乳児院だより 第9号

社会福祉法人 大阪福祉事業財団 くるみ乳児院 大阪市鶴見区緑1丁目18-30 TEL06-6180-5062 発行責任者 平瀬 まり子

『ユニットの子どもの様子』
～家庭的養育をめざして～



事務所で仕事をしていると、子どもたちが園庭の砂場で楽しく遊ぶ声が響き、元気をもらいます。国の施策で、大舎制から小規模化に移行することになり、18名定員のくるみ乳児院が誕生しました。以前の乳児院では、50名を3グループに分け、大きな集団で養育していました。赤ちゃんのお部屋では12名程が過ごし、6カ月以上3歳までの子どもたちを年少児と年長児に分けて4グループにし、なるべく小さな集団を作りながら、日々子どもたちの要求に応えられるよう努めてきました。しかし、子ども8人～10人を2人の職員で養育していたので、子どもの声に直ぐ応えることができなかったり、朝食時には、20人近い子どもを1人の職員とパートの職員2名で対応していたので、ゆっく会話しながら食事を味わうことは難しい状況でした。

定員18名のくるみ乳児院が開所する時、小さな集団で養育するための工夫が必要でした。現在赤ちゃんユニット（0～6カ月）16名、乳幼児のユニット（6カ月～3歳まで）16名ずつの子どもたちに対し、それぞれのユニットには、職員がほぼ2名ずつ勤務している中で過ごしています。

赤ちゃんのお部屋では、ゆったりのとした時間が流れ、職員からの声掛け「うーん」「んー」と赤ちゃんが話しかけるような声が聞こえ、とてもやさしいお部屋の雰囲気があります。乳幼児のユニットでは、子ども同士仲良く手をつないで遊ぶ姿や、「○○ちゃんのお名前は何ですか」と洋服が入っている引出しの場所を教えてくださいながら、子ども同士の間をのびやかに行き交わります。また、子どもたちの姿から、一人ひとりの思いがしっかりと受け止められているのを感じることが多いです。以前よりも、子どもと向き合える時間が持てるのだと思います。

このように、子どもたちの日々の成長の様子や変化が感じられるように、3年目の今年度も丁寧な子どもたちの寄り添っていきたく思います。

副施設長 川守田 繭美



くるみ乳児院では、地域のニーズを受け止めながら子育て支援を行っています。

『ショートステイ事業』 (大阪市の事業)

父母などが病気などで一時的に子どもの養育が困難になった時に宿泊をともなうかたちでお預かりしています。
利用年齢は2歳未満です。

これからの行事予定

7月7日 七夕まつり
盆踊り(町会)

8月(未定)
夏のおでかけ

9月28日 親子で遊ぼう



後援会からのお願い

『2019年度会員募集』

大阪福祉事業財団後援会は、2001年12月に「人を人として大切にすること、社会福祉の実現をめざして、結びつきと絆を大切に、輪を広げましょう」と呼びかけて結成されました。後援会では、法人各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす協力・共同の取り組みを進めています。

社会福祉法人 大阪福祉事業財団くるみ乳児院を含む大阪府下の多くの施設で老朽化が進み、国や地方自治体は財政難を理由に、福祉・教育・医療などの予算を削減し、施設建て替え時の自己資金の割合も大きくなっています。

大阪福祉事業財団は、皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。まだ後援会に入会されていない方は、入会していただきますよう、宜しくお願いいたします。早々にご入会いただきました方には、心より御礼申し上げます。

*個人会員 1口 3,000円 *団体会員 1口 10,000円

大阪福祉事業財団と社会福祉の発展に協力し、応援して下さる方は、くるみ乳児院(06-6180-5062)までご連絡ください。



春のおでかけ

4月19日、さくら・もものお友だち全員で、お弁当を持って鶴見緑地（注1）の大芝生へおでかけしました。日頃ゆっくり歩いて行くことができないので、今回はみんな一生懸命歩いてとても楽しそうにしていました。まだ歩行が確立していない子は、バギーに揺られてのんびりと楽しんでいました。芝生につくと、いっせいに走りだし大はしゃぎの子どもたち！！ よちよちと歩けるようになった子は広い芝生の上を何度も尻もちをつきながら歩いていました。芝生の上に寝転がると、子どもたちは「あったかいねー」「おやすみー」とおしゃべりしたり、木の枝や枯葉を見つけては「みて～」ととても嬉しそうに見せに来てくれました。中々公園にボールを持って行くことができないのと、乳児院では思いっきりボールで遊ぶことができないので、ボールを出すと子どもたちは「きゃ～」と歓声をあげていました。次々と遠くへ投げると、色とりどりのボールに向かって追いかけていました。ボールを手にした子は喜び、大人の真似をして投げていました。たくさん遊んだ後はお弁当をシートの上に広げて食べました。フルーツから食べる子やウインナーばかり食べている子とさまざまでしたが、とても満足な様子でした。遊具がなくてもボールや自然の中で喜び、外で食べるお弁当も美味しく、子どもたちはのびのびと過ごすことができました。

散歩の時間があれば鶴見緑地へ行くこともありますが、芝生で走り回るとはあまりないので、とてもいい経験ができました。また、大芝生へ行って遊びたいと思います。

（注1：花博記念公園鶴見緑地 くるみ乳児院から徒歩10～15分のところに位置する都市公園です。）

保育士 小澤 恵



～ラジオ体操～ いっち、にー、さん



今年、町会の運動会に初めて子どもたちと一緒に参加しました。子どもたちは運動会に行く前から「きょうはうんどうかいにいく」や「ヨーイ、ドンする」とうれしそうに話していて、やる気満々でした。会場に近づくと、大人の手をひっぱり急げと言わんばかりに、町会のみなさんの輪の中に入って行きました。

最初はラジオ体操です。子どもたちは「いっち、にー、さん、しー」と声を出しながら腕を伸ばしたり、ジャンプをしたりと上手に体操をしていました。子どもたちは“かけっこ”に出場しました。スタートのピストルの音が大きくて怖がっていた子も、自分の出番になりスタートラインに立つと、怖がる様子もなく目をキラキラさせていました。「ヨーイ、ドン」の声が聞こえるとゴールを目指して走り出し、一生懸命走っている姿はとてがかっこよかったです。ゴールの後、景品をもらおうと子どもたちは嬉しそうに見せに来てくれました。子どもたちは大人が出る競技の時は、大きな声で「がんばれー」と応援してくれたり、町会の大きな旗を大人と一緒に持って振りながら応援してくれたので、とてもがんばれました。

普段とは違った子どもたちの姿を見ることができ、町会の方々とも言葉を交わし交流できたことは思い出に残る一日となりました。町会のみなさま、ありがとうございました。

保育士 堀 裕佑



親子でふれあう「ほっこりひろば」の開催



鶴見区にくるみ乳児院が開所して3年目を迎え、関係者の方々にはいつもご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。また近隣のみなさまには、子どもたちに優しくお声かけいただいたり、温かく見守っていただき、この地域で生活していると実感しています。くるみ乳児院は定員18名の子どもが3ユニットに分かれて生活している、小さな施設です。

家庭的な生活を基本にしていますが24時間子どもたちの命を守るため、保育士・看護師・栄養士・相談員など専門の職員がいます。各分野の専門性を活かし、少しでも地域の子育てのお力になれることはないかと考えてきました。まずは施設を知ってもらうこと、また交流を持つことを考え、子育てに不安がある方、つながりを持ちたいと思っておられる方などを対象に親子でほっと一息ついていただけるような、名称「ほっこりひろば」を計画しました。小さな輪から大きな輪につながって、気軽に相談できる地域の施設として、充実した子育て支援ができるよう頑張りたいと思っています。

今年度はテーマを変えて数回開催予定です。その都度の申し込みで参加していただく形を考えています。

第1回目は、プチ夏まつり 輪投げ・魚釣り・ボールプールなど
親子で楽しく、お祭りの雰囲気味わってもらおうと考えています。

場 所： くるみ乳児院 ホール

日 時： 7月26日(金) 10時45分受付 11時開始～12時まで

対 象： 地域にお住まいの 0歳～2歳までの親子

料 金： 無料

定 員： 親子5組 *定員になり次第 締め切らせていただきます。

2019年度のプログラム予定

2回目：9月下旬 くるみ乳児院栄養士による
離乳食のお話

3回目：11月下旬 くるみ乳児院看護師による
ベビーマッサージ

4回目：1月下旬 未定

*都合により変更する場合があります。

その際はご了承願います。

問い合わせ・申し込みは、
くるみ乳児院までお願い
します。



保育室「いちご」のとりくみ

保育室「いちご」は、生活の場とはちがい、子ども達が“少しがんばってみよう”と思える場所として、また積み重ねのある保育を目指して取り組んでいます。同じ月齢の子ども達がすごす中で、お互いが遊びを通して成長できる保育を目的にしています。定員は4名までとし、幼児ユニットの月齢の大きい子ども達が、月曜日から金曜日までの午前中をすごします。職員はユニットの大人ではなく、保育室専任の職員が1名で行っています。

2019年度は5月より保育室を開室し、3歳～4歳を迎えた子ども達2名からスタートしました。毎朝、保育園に通うようにリュックに自分の荷物を入れ、水筒を持って保育室のある3階のお部屋に行きます。「いちごにいくよ～」とユニットに子ども達を迎えに行くと、元気よくリュックを背負って走り寄って来てくれます。

保育室の日課は、おうたの会、リトミック、保育(戸外あそびや、制作など)、昼食、終わりの会となっています。保育計画に沿いながら季節の遊びを取り入れ、遊びを通してお互いが成長できるように働きかけます。昼食は、給食部がお弁当を作ってくれて、保育室に届けてくれます。お昼頃になると「おなかすいたなあ」「きょうはなにがはいてるかなあ？」と心待ちにしています。

今年度は少人数からのスタートですが、それぞれの子ども達の発達に合わせ、のびのびと遊べるお部屋づくりを大切にしていきたいと思っています。

保育士 青山 絵美

室内装飾「あじさい」



屋上でかけっこ

「よ～いどん」♪